

# 近代出版 研究

2026  
第5号

特集 エフェメラって？——軽薄短命の紙がみ

古書日月堂 佐藤真砂インタビュー 後ろ向きに全力疾走

なぜ今(いまさら)エフェメラなのか	小林昌樹
エフェメール、読者券、偽正誤表——そして「スムーズ」	林哲夫
蒐集趣味における「寸葉品」大概	中岡 努
「すてかたし」と「すつるもおし」	松下真也
吉物界における有袋類の研究	藤元直樹
明治二十年代の大阪書籍商の「販売資料」を求めて	戸塚 誠
コケティッシュ・エフェメラ	大尾佑子
又一つ発定禁止秋の風	松崎貴之
レコードのエフェメラ	毛利眞人
エフェメラの未来	スーザン・ページ・テイラー
本のエフェメラ小辞典 カバー・書店ラベル・帯・しおり……	

年譜の思い出	武蔵康史
『神保町が好きた!』の終刊	鈴木宏宗
東の『新才新誌』と西の『明進新誌』	神保町のオタ
道徳アンケート 紀田順一郎と私たち 補遺	朝宮運河、原島 茂ほか
紀田順一郎先生を想ふ	中尾 勝
紀田順一郎先生との最後の仕事	河原 努
『日本出版史料』以前の事と吉田公彦さん	福岡 勝

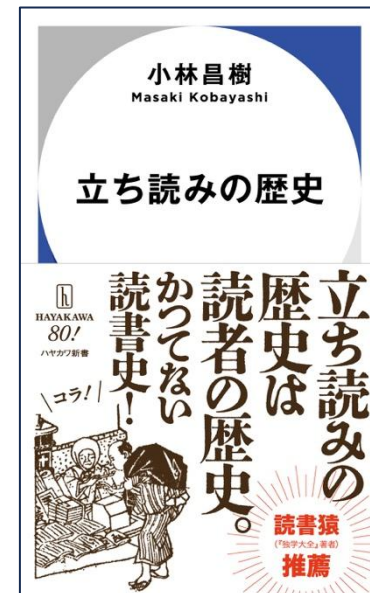
近代出版研究所

## レファレンス技法を 言語化して継承する

令和 8 年度  
長野県図書館協会研修会

2026/5/28 (木) 13:00-14:20

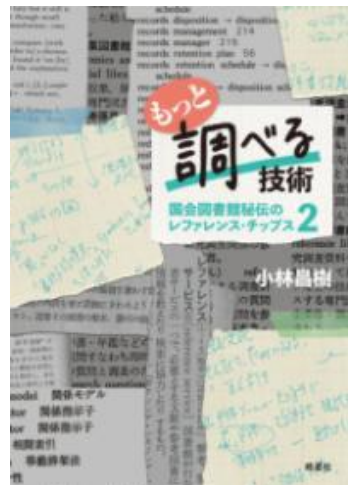
講師：小林昌樹  
(近代出版研究所 所長)



# 自己紹介



2022年12月刊



2024年6月刊



国立国会図書館  
(NDL: National Diet Library)  
東京本館 (永田町)

1992年「入館」 (=入省・入庁)

人文総合情報室で  
レファレンス司書 (2005-2021年)

# 講義の概要

1. 代行からセルフへ：サービス輸入失敗史
2. レファのコツ（技法論）
3. 汎用ツール置き場
4. 超汎用ツール：NDLデジコレ
5. 事例に即してコツを知る
6. スキルアップについて AIをどうするか

# 代行からセルフへ サービス輸入失敗史

熱心な人の誤解

このサービス＝利用者の代わりに調べてあげること  
そうは言っても最初は代行するんでしょ  
そう。実演販売の実演みたいなもの

# 代行からセルフへ①

## サービス輸入失敗史

今まで

- a. 「レファレンスは訳せない」説 1948→誤訳「考査」
- b. 代行業と誤解＝NDL調査及び立法考査局1948-
- c. 貸出との不幸なリンク＝貸出後にやろう 1970s  
※第一次ブームの立役者・志智嘉九郎は貸出・レファ無関係説だった



2000年ごろから

- a. 「レファ本」「レファ協」という言い方  
「参照」と（ココロの中で）訳せばよい→eg.参照質問，参照文献，参照作業 cf.参考図書
- b. 「セルフ・レファレンス」の提唱 by 斎藤文男
- c. 第二次レファレンス・ブーム  
レファ協DB（NDL）2002-  
パスファインダーの流行（当初は大学図書館）2000s

# 代行からセルフへ②

## 旧来の枠組みを疑う

### a. 禁止規定への懐疑

- JLA 公共図書館部会 参考事務分科会参考事務規程（1961）  
（第一次レファブーム遺産）
- 法律がらみ、人生相談、宿題、医療、翻訳なども受けたら  
（糸賀雅児）

### b. ネットとの関係

- ネット情報源の取込み  
不十分  
eg. ウィキペディアも使いよう

### c. 新自由主義的批判

- 完全代行なら給付行政  
では？→課金への道



画像：映画Exlibris 2017より

中世英語は苦手ですが  
訳してみます

小林昌樹、[「参照」してもらおうのがレファレンス・サービス](#)：インダイレクトこそサービスの本態。図書館は市民と本・情報をむすぶ。勁草書房刊，2015。p.178-187。新しいレファレンス理解。大阪府立図書館市場化テストなどレファレンス不要論を受けてのもの

# レファレンスのコツ

参照：小さな調べもの

コツ（骨法）≡技法

レファ技法論は図書館界にほぼなかった  
あったのはツール論（ツールのリスト）



どこが違う？

2006年  
人文総合情報室



1990年前後？  
NDL  
参考図書室



# コツ① どこに潜んでいた？

NDL人文課の例  
2000s末～



カウンター  
／事務机

パソコン画面内のデフォ

- a. Google
- b. 人文リンク集
- c. OPAC (NDLサーチ)

大規模書誌  
はネットへ  
移行  
2000s-

レファ本 2万冊 (0,1,2,7,8,9類)

閉架書庫 4700万点  
使うのは協力  
レファだけ



デジ化→  
デジコレ数百万点



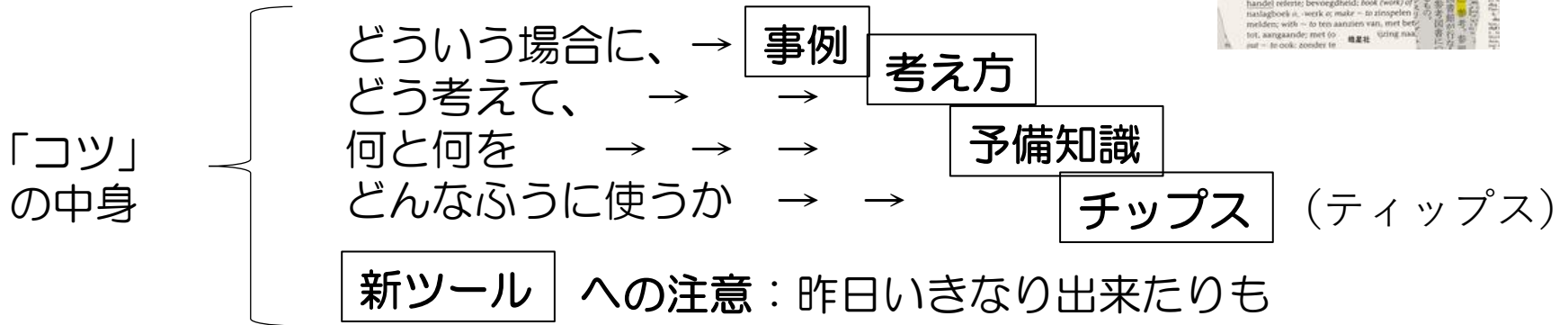
←この矢印部分にコツが潜んでいた

余談：NDLでは協カレファ以外、レファレンサーは書庫に入らない

# コツ②

## 無理やり説明すると

コツ：一連の動作中に無意識的に次々繰り出される  
職人的レファレンサー：徒弟奉公で伝承



- 事例**：実戦。ギリ出た事例＝良い事例 whyを考える
- 考え方**：国、時代区分、主題ごとの切り分け法など
- 予備知識**：浅く広い主題知識＋汎用ツールの知識
- チップス**：tips、ツールのささいな用法上の注意など
- 新ツール**：ネット情報源の報知体制が館界にほぼない

# コツ③

## 人物レファの場合

カウンターで

ユーザ：小林鉄次郎という人物について知りたいのだけれど…

司書：（人物文献の棚へ歩きながら）何をしていた方ですか？

ユーザ：よく分からないけど、道具屋って聞いたなあ

司書：聞いた、というと、もしかするとご先祖さまですか？

同じ主題でも見る文脈でtoolが全く異なる

人物調査の3類型		考え方
	Reference tool	出版物の性格
a 有名人 (超有名人)	人名事典 伝記	一般的
b 限定的 有名人 (半有名人)	政府職員録 人名鑑（紳士録・ 淑女録）	専門的 特殊
c 無名人	電話帳 住宅地図 戸籍・名簿	特殊 非出版物 文書

インタビュー(問い返し)で質問の文脈を知る

# コツ④

## 人物レファの場合



事例：どういふ場合に

無名ないし半有名人のファミリーヒストリーの場合に

考え方：どう考えて

人物調査は3類型で考えると効率的

予備知識：何と何を

公務員系なら職員録、民間人なら人名録、戦後なら電話帳

チップス：どんなふうを使うか

祖父の名前なら（祖母は旧姓でその親を）

新ツール：新ツールができたかも

NDLデジコレ（後述）がファミリーヒストリーにぴったり

「人物調査の3類型」「同時に出るもの探索法」など、個々の技法開発（言語化）を名付けがまだ全然できていない→一部「調べる技術」に

もっとも重要な

**新ツール** についての **予備知識**

# 汎用ツール置き場

ネット情報源のありか

**新ツール** の発見が依然として課題

以前は館外の古本仲間（在野研究者）に聞いていた  
X（ツイッター）で知ったり、カレントアウェアネス  
で知ったり

# 置き場① ツールのリスト\*

\*専門語では「参考図書紹介」「参考図書の解題書誌」

規模	図書（冊子）を採録するもの	ネット情報源を採録するもの
小 (厳選)	①長澤雅男 『レファレンスブックス』（2020） 476点	①NDL人文リンク集（2006, 公開 2011-）約700件（1年に1割入替） ②高鍬裕樹『デジタル情報資源の検索』 （2005-2014） ③大学/県立図のDBリンク集、数百？
中	②『日本の参考図書（4版）』 （2002）7033点 ②-a日本の参考図書Web版 デモ版 ②-bNDL参考図書紹介 ②-c『日本の参考図書四季版』 （1967-）	④『データベース台帳総覧』（1983- 2005）約5000件？ ⑤調べ案内（NDLリサナビ内）ト ピック別
大 (網羅的)	③『日本書誌の書誌』 （1973-2006）採録は国初～ ca.1970 ③-a『書誌年鑑』（1982-） ④NDLサーチの専門情報室開架分3万	⑥NDLデータベース・ナビゲーション ・サービス（Dnavi）（2002-2014 停止）22,196件（2014現在21%が 公開停止）

いままでネット情報源リストの比較・紹介がなかった

# 置き場② NDL人文リンク集

- ネット情報源がひとつとおりのリンク

- 総記と人文  
(思想、歴史、民俗、建築史、放送番組、芸術、言語、文学)  
科学／社会系はない
- NDC順  
→そのジャンルにDBがない(orなくなった)とわかる
- 2階層  
(下階層を使う)
- 実際使う／使える物
- リンク切れ少ない 1年で1割入れかわる
- 700点以上のDB。多くが無料
- 現場で自然発生(2006-) 予算ゼロ cf.Dnavi

国立国会図書館サーチ  
リサーチ・ナビ

サイト内を検索

ヘルプ ログイン

リサーチ・ナビ

## 人文リンク集

目次  
検索サイト  
蔵書目録  
販売目録  
NDC順  
目次データベース  
雑誌記事索引  
新聞記事索引  
学術一般・百科事典・博物館  
図書館・図書館情報学  
出版・著作権  
哲学・宗教  
歴史・地理・地域研究 (日本)  
歴史・地理・地域研究 (世界)  
人物・肖像  
建築  
テレビ・ラジオ  
美術  
マンガ  
写真  
音楽  
舞踊・演劇  
映画  
諸芸・娯楽  
言語  
日本文学  
外国文学  
当館作成リンク集  
便利なツール

人文科学およびジャンル横断的な調べもの(いわゆる総記分野)に役立つデータベースへのリンク集です。詳細は「人文リンク集凡例」をご確認ください。

このページでは各分野の代表的なデータベースへのリンクを掲載しています。各ジャンル名をクリックすると、ジャンルごとの詳細なリンク集(詳細画面)が開きます。以下は要約版です。

「\*」印は、当館契約データベース(館内限定)のため、名称のみを掲載しています。

### 検索サイト

- Bing
- Google
- Internet Archive: Wayback Machine

### 蔵書目録

#### 国内

- Cinii Books
- 国立国会図書館サーチ
- WorldCat
- 慶應義塾大学KOSMOS
- 東京都立図書館

私は趣味の研究で 家から毎日使っていた

# 置き場③ NDLリサーチ・ナビ



- 実は人文リンク集は、[NDLリサーチ・ナビ](#)に置いてある
- 本来「調べ案内」([library pathfinder](#))置き場
- [当該項目がもしあれば](#)、くわしくツールがわかる
- ただし当該項目(≠DB)が「ない」ことがすぐわからない  
→なければ即座に紙ツールへ移行する

最重要的な

予備知識

# 超汎用ツール NDLデジコレ

2022.12！ NDLデジコレが別人格に  
永田町に行かなくても昔のことならOKに

参考：[大検索時代のレファレンス・チップス  
第1回 デジコレの2022年末リニューアルを  
チェック！ ファミリー・ヒストリー編](#)

# NDLデジタルコレクション

(リニューアル2022-)  
 IBNDLデジタル化資料(2011-)  
 IBNDL近デジ(2002-2016)

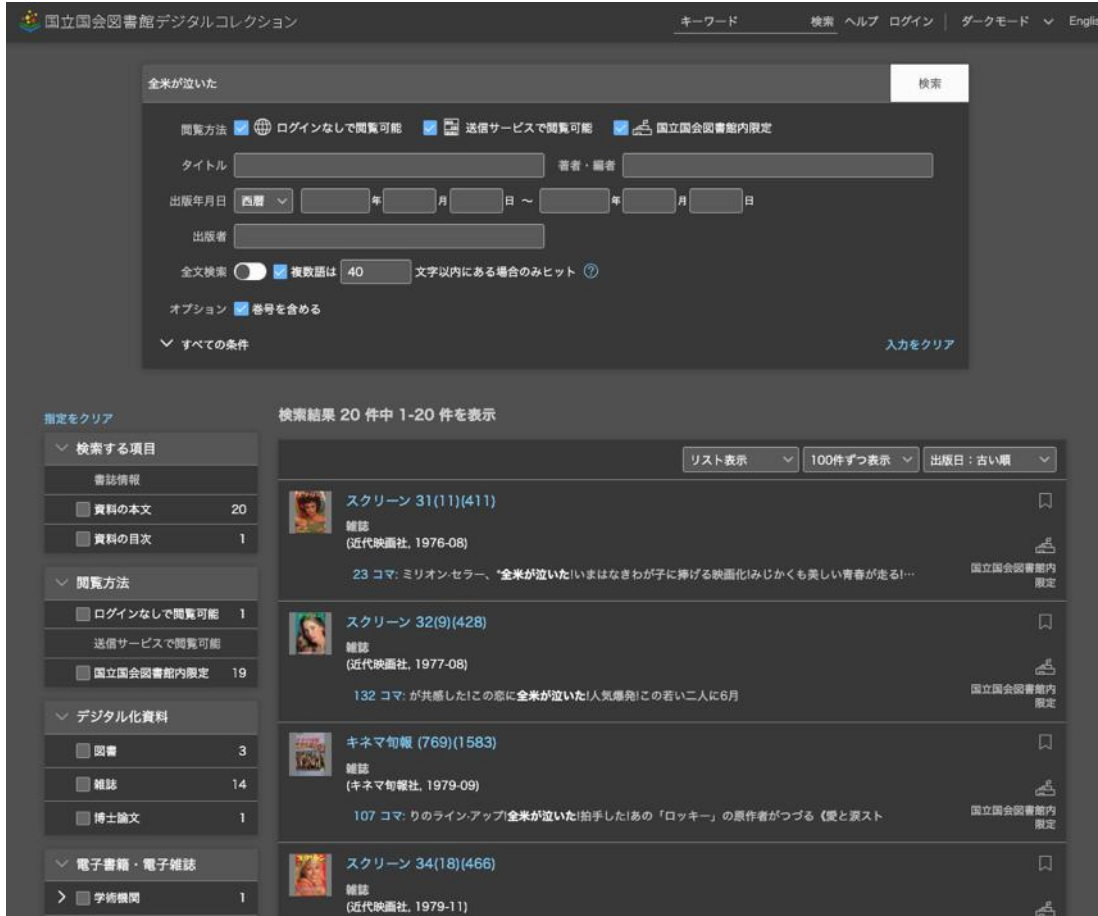
## 新ツール

4年前、日本中の家の隣に  
 NDLが建った！



【表一】国会図書館 時代別蔵書構成表\*

	帝国図書館時代 (戦前本)	国会図書館時代 (戦後本)	NDL合計 (2022年)
図書	105万冊	1107万冊	1211万冊
雑誌	6万点	1339万点	1345万点
新聞	1万点	689万点	690万点
その他	—	1438万点	1438万点
	112万点	4573万点	4685万点



→ デジコレ：撮影、フルテキキ化作業の順序  
 2000年までの図書、雑誌ほぼ完了

\*『本の雑誌』2024.10より。  
 網部分をデジ化中 単位「点」は合冊製本、  
 CDなどを含む

150年分の4700万点



# 事例に即してコツを知る

というか、事例を介してしか、小さなチップスは憶えられない

よい事例≠多い事例

よい事例=心に残る事例（失敗や気づき、ギリギリ出た事例）

質問1：

〈セルフ・レファレンス〉を提唱した  
都立図書館員の“サイトウ・フミオ”  
さん、いつ亡くなったんだっけ？

業界でちょっと有名だった人の履歴

参考 私のネット連載

[「ネット上で確からしい人物情報を拾うワザ——  
国営の典拠DBを人名事典として使う」](#)

[「デジコレの2022年末リニューアルをチェッ  
ク！ ファミリー・ヒストリー編」](#)

[「ネット上で確からしい人物情報を探すワザ 現  
代人編」](#)

# 人物調査の三類型

	例えば	記載がある資料 (人物文献・人名事典類)	探索ツールや 人物文献の性格
<b>a 有名人</b>	歴史上の偉人 大物政治家 有名タレント 大作家 大官 僚	<b>人名事典</b> 一般年鑑 (の付録人名編) 紳士録 伝記 列伝	総記 (汎用) 系の代表的なもの レファレンス事典 (日外アソシエーツ)
<b>b 限定的有名人 (半有名人)</b>	政治家・官僚 学者・業界人 社長・重役 タレント 地方名士 著作者 犯人・被害者	<b>紳士録 (人名鑑)</b> 専門事典、専門人名事典 県別百科、地方人名事典・紳士録、淑女録 職員録 (日本政府の) 著作権台帳・NDL名称典拠 新聞紙・週刊誌、官報	専門別・業界別 地域別 同時代の汎用系ツール レファレンス事典 (日外アソシエーツ)
<b>c 無名人</b>	普通の人 市井人 一般ピープル	<b>電話帳</b> 名簿 (職員、同窓会など) <b>住宅地図</b> 過去帳 (公開反対運動あり) 戸籍 (除籍簿。閲覧制限→直系子孫などに限定)、兵籍簿	参考図書と見なされづらいもの 非公刊、灰色文献 公文書、私文書

# 限定的有名人を調べる

## 人物調査の三類型から

Web NDL Authorities  
 国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス

キーワード検索 分類記号検索 典拠ID検索 English ヘルプ

斎藤, 文男, 1950-2013 検索

すべて 名称のみ 普通件名のみ

検索結果に戻る

### 斎藤, 文男, 1950-2013

国立国会図書館のサービス

以下のリンクボタンから国立国会図書館オンラインで検索ができます。

著者名検索  
 件名検索

ID	00798304
典拠種別 skos:inScheme	個人名
名称/タイトル xi:prefLabel	斎藤, 文男, 1950-2013
名称/タイトルのカナ読み ndl:transcription@ja-Kana	サイトウ, フミオ, 1950-2013
名称/タイトルのローマ字読み ndl:transcription@ja-Latn	Saito, Fumio, 1950-2013
生年 rda:dateOfBirth	1950
没年 rda:dateOfDeath	2013
関連リンク/出典 skos:exactMatch	<a href="#">NDL00798304</a> (VIAF)
出典 dct:source	資料提供としてのレファレンス・サービス / 斎藤文男 編 本人回答 実践型レファレンス・サービス入門, 2019.5 (没年)
編集履歴 skos:historyNote	没年追加 (20190625)
作成日 dct:created	2000-03-02
最終更新日 dct:modified	2019-06-28T13:27:15
外部サイトへのリンク	<a href="#">Wikipediaで検索を行う</a> ※Wikipediaの検索結果の一覧が表示されます。
他形式のデータ	<a href="#">RDF/XML形式</a> , <a href="#">RDF/Turtle形式</a> , <a href="#">JSON-LD形式</a>

出典←人物文献索引としても使えるフィールド

- 日外Whoplusは100万人収録しているが…
- 人文リンクの人物の項、不出来※
- 本を書いた人なら全員→NDL典拠に100万人収録
- 「よみ」だけでも引ける
- 姓名はスペースで切り離して→続きでもOKに2026?-

質問2：

「ファーストシューズ」という欧米の  
習慣についての文献がほしい

生活系のネタは記事検索がむずかしかった

ギリギリ見つかった事例＝良い事例

→なぜ出たのか後から考える

参考

レファ協事例

[「ファースト・シューズ」という風習の起源について知りたい](#)

# 「文献」≡記事

- 本はわりと簡単に 2000s~ NDLサーチ Worldcat
- 「文献」≡記事/論文
- 記事=ものを考える (レポート書きなどの) 起点
- 自分がどのレベルを検索中なのか常に意識する

## 情報粒度とツールの対応表

ツール/検索システム→		OPA C	記事 索引	事項 索引	語句 索引	Google NDL ブックス デジコレ
粒度レベル↓						
大	1. 本1冊・紙誌名	○				△
↑	2. 目次・記事の論題	△	○			△
↓	3. 本文：項目・事項			○		△
小	4. 本文：語句・文字				○	△



(情報) 粒度：情報単位の細かさ。検索システムの分析深度（浅い⇔深い）に対応。  
 目次・論題：単行書の目次、雑誌・新聞の論題。雑誌の特集名はこの上位だが便宜上

# 普通の雑誌記事索引で文献が見つからない

もちろん平行して  
ググるし、Google  
ブックスも見る  
当然、新聞DBも検索

国立国会図書館サーチ  
NDL SEARCH

ファーストシューズ

キーワード

検索結果 2 件

20件ずつ表示 リスト

歩き始めから約3ヶ月間の赤ちゃんのために開発した「ファーストシューズ」

江島 れい子

第20回消費生活雑誌

江島 れい子

p.665-669

国立国会図書館デジタルコレクション

雑誌記事索引データベース  
ざっさくプラス

検索記事総数  
20世紀メディア情報DB連携時 31,332,602件  
20世紀メディア情報DB非連携時 29,367,705件

総合雑誌から地方誌まで、明治から現在まで  
The Complete Database for Japanese Magazine and Periodicals from Meiji Era to the Present.

検索結果 2 件

歩き始めから約3ヶ月間の赤ちゃんのために開発した「ファーストシューズ」

江島 れい子

第20回消費生活雑誌

江島 れい子

p.665-669

指定をクリア

閲覧方法

ログインなしで閲覧可能

送信サービスで閲覧可能

国立国会図書館内限定

デジタル化資料

生活ネタとはいえ  
ほとんど出ない段階で  
アヤシイ話題と推測する  
のがレファの定石

CiNii 論文・データをさがす 大学図書館の本をさがす 日本の博士論文をさがす

J-STAGE 資料・記事を探す J-STAGEについて ニュース&PR サポート

詳細検索結果

J-STAGE上のすべてのジャーナルを検索

検索

すべての検索条件をリセット

以下の条件での結果を表示する: 検索条件を変更 お気に入り検索に追加

論文タイトル: ファーストシューズ

1件中 1-1の結果を表示しています

並べ替え ヒット率

表示 20 件

歩き始めから約3ヶ月間の赤ちゃんのために開発した「ファーストシューズ」

江島 れい子

繊維製品消費科学

2015年 56巻 8号 665-669

発行日: 2015/08/20

公開日: 2017/11/28

DOI <https://doi.org/10.11419/senshoshi.56.8.665>

ジャーナル 認証あり

PDF形式でダウンロード (1408K)

## 各種雑索の得意ジャンル

	記事件数 (年)	連携**	得意ジャンル(採録誌)	特徴
a. <a href="#">元祖雑索</a>	1330 万(2019)	-	月刊誌、主要学術誌	過去に分類あり
b. <a href="#">デジコレ</a> >目次	1000 万?(推計)	-	すべて	帝国図書館所蔵誌
c. <a href="#">ざっさくプラス</a>	3103 万(2022)	<a href="#">abfghi</a>	すべて、文芸誌	戦前書誌、総目次
d. <a href="#">マガジンプラス</a>	2036 万(2021)	ab	すべて、経済誌	論文集
e. <a href="#">ウェブ大宅</a>	585 万(2022?)	-	週刊誌、総合誌	人物、キーワード
f. <a href="#">CiNii research</a>	2063 万(2018)	a	学術誌	学術
g. <a href="#">Fujisan</a> >目次	100 万?(推計)	-	女性誌、趣味誌、市販	趣味、生活、スポーツ
h. <a href="#">20c メディア情報</a>	196 万(2022)	-	すべて、新聞記事も	著者の肩書を採録
i. <a href="#">J-STAGE</a>	539 万(2022)	-	理系学術 (文系も)	全文検索可
j. 国文学・アーカイブズ学論文DB	60 万(2019)	-	国文、文芸、書誌学	キーワード

注) \*\*データの取り込み先。それも引ける。

記事件数はよくわからないものも多い DBは凡例が弱い  
いきなり(?) 名前が変わることも eg.jの国文研DB

トップ > 検索結果 (キーワード: ファースト・シューズ)

雑誌名 (12)

出版社 (11)

雑誌詳細 (54)

目次 (49)

まるごと中身 (1000)

"ファースト・シューズ" を含む検索結果

雑誌全体を表示 ▼

関連性の高い順 ▼

30件表示 ▼

全49件中 1~30件を表示



おとこのブランド HEROES (ヒーローズ)

2019年08月19日発売

パンツ集・Tシャツファーストで行こう・カジュアルスナップ8"スタイル・WATCH CATALOG・ドレスコードは「新作秋服」・オシャレ見せシュー...



Baby-mo (ベビモ)

2011年03月15日発売

んよしたのはいつ? ファーストシューズ選びのコツは? 200人ベビーのあんよでGO! GO! ..... 久保田競博士...



Baby-mo (ベビモ)

2012年09月15日発売

..... ファーストシューズ選びにもう迷わない ..... 来春4月入園から確実に「保育園に入る!」た...

考え方



GINZA (ギンザ)

2015年06月12日発売

Y TO WEAR ファーストレディの肖像世界の20人を勝手にファッションチェック おしゃれな公人さんいらっしゃ〜いこの服を選んだ理由を帰納法...



MONOQLO (モノクロ)

2016年04月19日発売

巻頭特集】1万円でもファーストクラスで恥ずかしくない 攻守最強の格安紳士靴を探せ! ◆ビジネスシューズNo.1決定戦【第1特集】遊びも、仕事...



25ans (ヴァンサンカン)

2015年05月28日発売

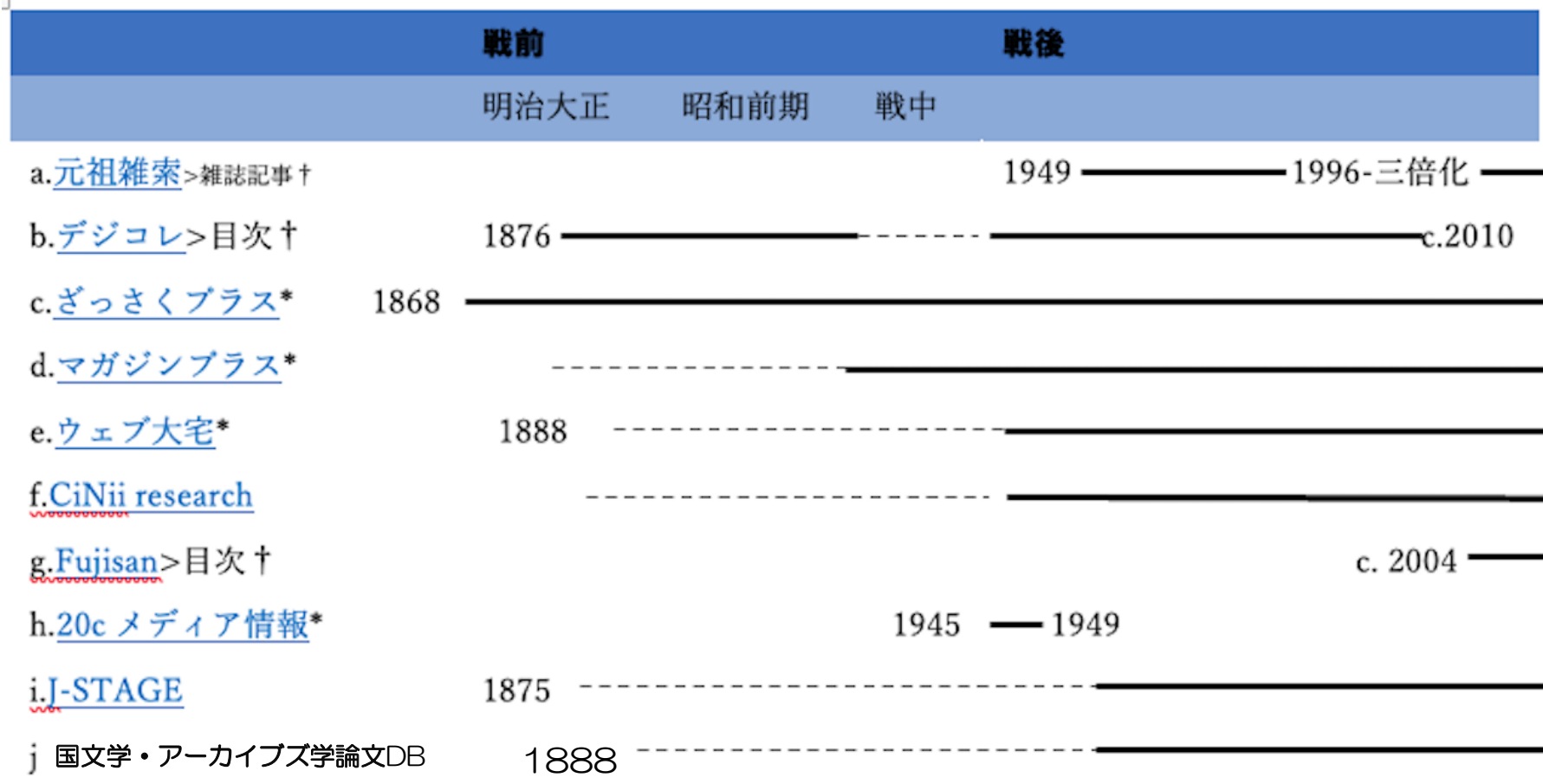


GINGER (ジンジャー)

2017年08月23日発売

- 販売サイトを記事索引として使う
- 巻号を確認 →NDL遠隔複写 (ただし欠号

# 各種雑索の採録年代



注) †は雑誌記事、目次欄を選択しないと雑索として使ったことにならないという意味。\*は契約DB (有料)。実線は採録年代。破線も採録年代だがやや弱い時期。

こういった知識をベテランは自然に身に着けている  
リンク集には書ききれない→小林著 (2022) を参照

# レファレンス難易度の時代区分 (日本限定で何にでも)

	前近代 ～江戸時代	戦前 明治大正	昭和前期	戦後 昭和後期	情報化	ネット時代
年代	～1868	～1923	～1945	1945～	ca.1985～	ca.1995～
レファ 難易度	ある意味 容易	相当 困難	そこそこ 困難	ふつう	比較的 容易	容易
その要因	質問の出 所が限定 的	関東大震 災	空襲	全国書誌 図書館	Digital born text 新聞, 目録	Windows HP Blog

- 日本がらみなら、なんでも3区分→困難度≡コスパ≡タイプ予測
- 前近代が容易なのに注意
- 戦前のことがわかるDBだけ気にかけておけば効率的
- ある外国人「たった100年前のこともわからないの?!」(2011年頃)
- 常識すぎて書かれない「こんなのあたりまえ」だから

質問3：

「マンガについてのレファ本を10万円分買いたいから最新の候補リストを」

新興学問（知識分野）のレファ本は少ない

国家図書館で直接来館サービスをやる意味

＝国立図書館のモデル効果

ex. 国際子ども図書館

参考：大検索時代のレファレンス・チップス

[「第4回 予算無限大の理想のコレクションから、現役のレファ本を見つけるワザ」](#)

# 「マンガについてのレファ本を10万円分買って」

NDL サーチでNDLレファレンス室の所蔵データを、  
購入検討用のレファ本リストとして使う

考え方

## 新NDLサーチでNDL人文総合情報室にあるマンガ類を検索

国立国会図書館サーチ  
NDL SEARCH

検索キーワードを入力

図書館  国立国会図書館 (38)  全国の図書館 インターネットで見られるものに絞る

タイトル  著者・編者  出版者

出版年 (西暦)  年 ~  年 ISBN / ISSN  請求記号

資料種別  図書 (38)  雑誌  新聞  和古書・洋籍  博士論文  地図  楽譜  Webサイト  電子書籍・電子雑誌  電子資料  映像資料  録音資料  規格・テクニカルレポート類  文書・図書類  すべて解除  雑誌記事等

資料形態  デジタル (5)  紙 (38)  マイクロ  記録メディア  すべて解除

所蔵場所  
 東京本館 (38)  図書カウンター・図書別室 (33)  雑誌カウンター  新聞資料室  議会資料室  科学技術・経済情報室  人文総合情報室 (38)  地図室  古典籍資料室  憲政資料室  音楽・映像資料室 (3)  関西館 (30)  国際子ども図書館 (19)  デジタルデータ (4)  デジタルデータ (障害者向け資料) (3)  すべて選択

件名

ジャンル・形式用語  漫画 (1)  児童図書  児童雑誌  住宅地図  議会資料  楽譜  コンピュータゲーム  アニメーション  LLブック  すべて解除

NDC  726\*

USCAR  分類記号

図書館  国立国会図書館 (38) 所蔵場所  人文総合情報室 (38) NDC  726\*

検索結果 38 件

←「全国の図書館」は純粋な書誌検索なら、  
はずすのがベター

←書誌データ  
は空欄に

←項目追加で、  
所蔵場所>人文総合情報室

←とりあえずNDCで前方  
一致(\*)

チップス

- NDL「参考図書紹介」（リサーチ・ナビ内）<https://rnavi.ndl.go.jp/sanko/1990s-2024>
- JLA日本の参考図書web版は……  
<http://www.irb-db.org/> -2009



①水溝、濡れている状態。  
②（人物等に行く場合）汗あるいは涙、転じて、実際の汗や涙ではなく汗や涙の出る心理状態（申し訳なさや悲しみ等）を表す場合もある。

形式的に「参考図書」にあてはまらないものでもレファ本として使うことができる資料はレファレンス・コレクションに加える



# スキルアップについて

提言、記録  
AIとのつきあい

# スキルアップ①前提

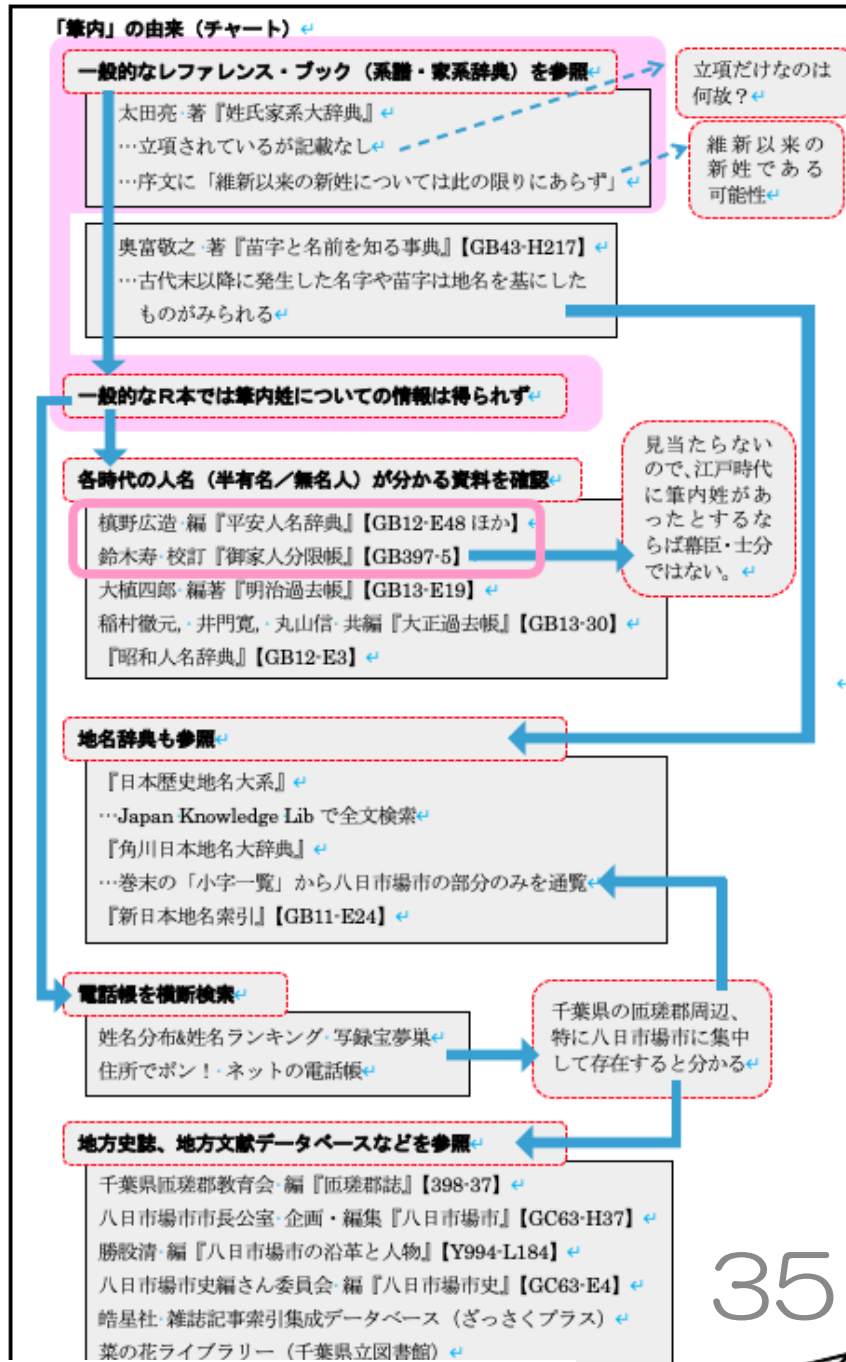
## • コツの可視化はすごく手間

潜んでいるコツはかなり深堀りしないと出てこない  
レファレンス遂行中に無意識的に発動されるから

小林昌樹, 村尾優子. [レファレンスの事例分析から汎用スキルを抽出する試み](#) : その共有のために. 図書館雑誌. 2017, 111(2), p.75 - 77.

• セルフレファをユーザにさせないのならば、徒弟制（長居・下積み）がいちばんコスト安だが…

小林昌樹. [番外編2 レファレンスの「暗黙知」を研究する最初の一步は——『調べる技術』がヒットした原理的な理由](#). 皓星社メルマガバックナンバー. 2024.7.1



# スキルアップ②提言

- 「職人」にならないようにする：初心者に親切に
- PCで何をしているか（同僚や利用者に）説明しながら使う
- ベテランと新人がかぶる時間帯を
- 未解決は思い出した頃またやる  
（ユーザ待ちの時間）
- 汎用ツールを実際に自分で使ってみる  
契約DBなど特に ホントはAIも
- 検討会をやってみる（回答済みなど）  
着手前に軽いカンファレンス（こうやってみたら、と）も
- 地元案件のパスファインダーを作る
- レファ協は事例研究の材料として批判的に（or手がかりとして）使う
- JLAにレファの常設委員会を
- レファのインタビュー術の研修や研究はあまりない  
cf. 小林昌樹. 人文系レファレンスの際、インタビューで気を付けていること. [び  
ぶろす \(75\) 2017年](#)

# スキルアップ③記録

ふつう記録はなるべく簡便がよい

個人のスキルアップには、正しい記録より、なるべく多く、なるべくきちんと参照を実行するのがGood

- ① 「正ちゃんマーク」の1画
- ② メモ
- ③ 回答文書（協カレファ）

×月○日	<input checked="" type="checkbox"/> 来館 <input type="checkbox"/> 電話
質問事項	「筆内」という姓の由来
回答・回答方法・その他申し送り事項	R本の姓氏には似て出ず GB12-J11 姓氏4000歴史辞典に 小説家に筆内幸子がいるとだけ 定器の太田亮 姓氏家系大辞典に なぜか 項目のみで説明文がない

②某館のレファレンスメモ

## ③回答文書（協カレファ）

レファレンス協同データベース  
Collaborative Reference Database

データを探す 検索 ヘルプ ログイン

> 事業について > 関係者の方へ > 参考情報

現在位置 トップページ > レファレンス事例詳細

### レファレンス事例詳細

事例作成日 2016-04-02 登録日時 2016/09/22 00:30 更新日時 2016/09/22 00:30  
提供館 国立国会図書館 (National Diet Library) (1110001) 管理番号 D160325164826

質問	「筆内」という姓について、由来や分布、伝説、著名な人物などが知りたい。	未解決
回答	<p>筆内という姓の由来などについて、以下のような観点から調べましたが、貴館で把握していると思われること以外のことは、千葉県匝瑳(そうさ)郡(現・匝瑳市)周辺、特に旧・八日市場市に集中して存在するということがわかりませんでした。</p> <p>以下で調査の過程を説明します。</p> <p>○分布など 過去の電話帳データに依拠した次のデータベースで「筆内」姓で検索すると、総件数は少ないなかで、千葉県の匝瑳郡周辺、特に八日市場市に集中して存在する姓氏であることがわかります。 ・姓名分布&amp;姓名ランキング 写録宝夢集 <a href="http://www2.nipponsoft.co.jp/bldoko/index.asp">http://www2.nipponsoft.co.jp/bldoko/index.asp</a> ・住所でポン! ネットの電話帳 <a href="http://jpon.xyz/">http://jpon.xyz/</a> (2000年版を参照)</p> <p>○戦前期における筆内姓について 次の紳士録、訃報記事索引を参照しましたが、見当たりませんでした。 ・大植四郎 編著、明治過去帳。新訂。東京美術、1988.11【GB13-E19】 ・稲村徹元、井門寛、丸山信 共編。大正過去帳。東京美術、1973【GB13-30】 ・昭和人名辞典 日本図書センター 1989 2【GR12-F3】</p>	

[https://crd.ndl.go.jp/reference/entry/index.php?id=1000197133&page=ref\\_view](https://crd.ndl.go.jp/reference/entry/index.php?id=1000197133&page=ref_view)

# スキルアップ④AIをどうするか

ネット情報源（DB）グーグルと同じように付き合うのがよいかも…  
ただし使い方…

## チャットGPT

AIをレファレンス回答に用いている図書館は日本国内でどのようなところがありますか？ 一覧を少しづつ何にどのように用いているか解説しながら示してください

日本の図書館界では、2023年のChatGPT登場以降、「生成AIをレファレンスにどう使

- 完全自動回答よりも
- 「司書支援」「蔵書探索支援」「対話型案内」
- 「利用者との対話補助」

として使われる例が多いです。

以下、実際に名前が確認できるものを中心に、用途ごとに整理してみます。

### 1. 実際に生成AIをレファレンスへ導入した・実証した図書館

#### 山中湖情報創造館

もっとも早い段階で公表された事例の一つです。

2023年、ChatGPT Plus（GPT-4）をレファレンス支援ツールとして導入しました。化ではなく、

- AIと司書の協働研究
- プロンプト技術の研究
- AIを介した学習支援

でした。 [カレントアウェア...](#)

何に使っているか

参考として特に重要な公開資料：

- [国立国会図書館フォーラム案内](#)



当面、補助的な使い方 人が調査したものを整える、文書化するなど  
レファ協フォーラムをチェックしておけば乗り遅れないかも

# スキルアップ⑤AIをどうするか

## ファーストシューズの起源論をチャットGPTに聞いてみた

### チャットGPT

ファーストシューズの起源について教えてください。また、その典拠文献についても教えてください。

欧米の「ファーストシューズ (baby's first shoes / first-step shoes)」の習慣については、実は起源を直接論じた学術研究が非常に少なく、はっきりした「創始時期・創始地域」を断定できる定説はありません。ただし、現存する文献・博物館資料・新聞記事などを総合すると、次のように整理できます。

#### 結論（現在わかっている範囲）

現在の意味での

- ・ 「赤ん坊が最初に履いた靴を記念する」
- ・ 「その靴を保存する」
- ・ 「贈答品として贈る」

という習慣は、

#### 19世紀後半～20世紀初頭の英米圏

(特にアメリカ・イギリス)

で成立した可能性が高いです。

ただしこれは

- ・ 古代以来の宗教儀礼  
ではなく、
- ・ 近代家庭文化
- ・ 子ども中心主義
- ・ 記念品 (keepsake) 文化

の中で形成された習慣と考えられています。 MyHeritage Blog +3

以前、Grokなどに聞いた時よりずいぶん図書館ミュージアム系に寄せて、限定的に答えるようになってきた

#### 現時点で比較的信頼できる典拠

##### ① 国立国会図書館レファレンス協同DB

もっとも重要です。

[レファレンス協同データベース「ファースト・シューズという風習の起源について知りたい」](#) ▶

→ 「起源を説明する資料が非常に少ない」という調査過程自体が有益です。

##### ② メトロポリタン美術館

[The Metropolitan Museum of Art: Shoes \(1955–65\)](#) ▶

→ 「1930年代に bronzed baby shoes が広く知られた」と記述。

##### ③ American Bronzing Company 系列史

[The Tradition of Bronzed Baby Shoes](#) ▶

→ 1934年創業の企業史と習慣の普及過程。

##### ④ 家族史・民俗記事

[Family Traditions: Bronzed baby shoes](#) ▶

→ 「歩き始めの記念」としての文化的意味を説明。 

Grokの場合はこれより根拠が弱いことを、もっと弱く表現した感じ